

平成19年3月期 第3四半期財務・業績の概況（連結）

平成19年2月5日

会社名 リバーエレクトック株式会社

（JASDAQ・コード番号：6666）

（URL <http://www.river-ele.co.jp/>）

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長 若尾 富士男

責任者役職・氏名 取締役総務本部長 秋山 正雄 （TEL：（0551）22-1211）

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ① 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 無
- ② 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
- ③ 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

2. 平成19年3月期第3四半期財務・業績の概況（平成18年4月1日～平成18年12月31日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況

（百万円未満切捨て）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期（当期）純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
平成19年3月期第3四半期	6,838	15.1	594	208.1	589	91.3	322	215.7
平成18年3月期第3四半期	5,942	3.3	192	△55.9	307	△33.2	102	△63.4
（参考）平成18年3月期	8,045		370		476		171	

	1株当たり四半期 （当期）純利益		潜在株式調整後 1株当たり四半期 （当期）純利益	
	円	銭	円	銭
平成19年3月期第3四半期	43	06	—	—
平成18年3月期第3四半期	13	64	—	—
（参考）平成18年3月期	20	50	—	—

（注）売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期比増減率であります。

〔経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等〕

当第3四半期における当社グループは、携帯電話・薄型テレビ・無線モジュール・IT機器関連の水晶製品の受注が好調に推移し、また原価低減や販売価格の維持に努めました。

利益面においては、利益率の高い小型水晶製品の受注が順調に推移した事、生産設備の改善・改良による生産効率の向上により利益率の向上が図れました。

この結果、売上高は前年同期比15.1%増の6,838百万円、営業利益は前年同期比208.1%増の594百万円、経常利益は前年同期比91.3%増の589百万円を計上いたしました。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
平成19年3月期第3四半期	12,645	8,091	61.5	1,037 36
平成18年3月期第3四半期	11,858	7,473	63.0	997 57
（参考）平成18年3月期	11,941	7,580	63.5	1,009 55

【連結キャッシュ・フローの状況】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期 末 残 高
	百万円	百万円	百万円	百万円
平成19年3月期第3四半期	1,135	△1,229	△25	1,033
平成18年3月期第3四半期	—	—	—	—
（参考）平成18年3月期	937	△1,334	264	1,142

（注）平成18年3月期第3四半期は、（要約）四半期連結キャッシュ・フロー計算書を作成していないため、記載しておりません。

[財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等]

当第3四半期における財政状態は、前連結会計年度末と比較しますと、総資産は703百万円増の12,645百万円、負債は506百万円増の4,553百万円、純資産（少数株主持分を含む）は196百万円増の8,091百万円となり、自己資本比率は61.5%となりました。

当第3四半期におけるキャッシュ・フローの状況は、それぞれ次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、1,135百万円となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益を525百万円、減価償却費を719百万円計上したことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、1,229百万円となりました。これは主に定期預金の預入による支出447百万円、有形固定資産の取得による支出794百万円などによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、25百万円となりました。これは主に短期借入金の純増加額138百万円、長期借入による収入300百万円があったものの、長期借入金の返済による支出342百万円、配当金の支払額111百万円などによるものです。

これらの結果、当第3四半期における現金及び現金同等物の残高は前連結会計年度末に比べ109百万円減少し1,033百万円となりました。

○添付資料

（要約）四半期連結貸借対照表、（要約）四半期連結損益計算書、（要約）四半期連結株主資本等変動計算書、（要約）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

以 上

【参 考】

平成19年3月期の連結業績予想（平成18年4月1日～平成19年3月31日）

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円
通 期	8,851	748	381

（参考）1株当たり予想当期純利益（通期） 50円95銭

[業績予想に関する定性的情報等]

当第3四半期の業績は予定通り推移しており、平成18年11月10日に公表しました業績予想に変更はありません。

※ 上記の予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。